

会員数 59名 出席者49名・欠席者10名・免除会員5名
欠席者 有家・麻田・馬場・和泉享・松山・中野昌・曾川・加内・岸上・会員

前々回出席率 84.2% (9/24)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎
幹 事 陶国 栄帰
会報委員長 福田 洋子

お知らせ

10月のプログラム

- 1 (No.1)-ガバナー公式訪問
- 8 (No.2)-会員卓話
- 15 (No.3)-クラブフォーラム
- 22 (No.4)-客話
- 29 (No.5)-職場例会

他RC例会変更

- 丸亀東 10/13 職場例会
- 10/20 夜間例会
- 善通寺 10/21→10/19お別れ会
- 10/28→10/21職場例会

ニコニコBOX;

- 祝結婚月
- 大山君
- よいことがありました
- 中川君
- 卓話をお聞き頂きありがとうございます
- ございました
- 夏見君

<ニコニコ会計累積/¥130,000>

がんばるBOX;

- 早退します
- 大山君 中野和君
- 祝誕生月
- 陶国君
- 夏見先生ありがとうございました
- ゴルフコンペで優勝しました
- 岡田君
- 丸亀パブリックでのコンペありがとうございました
- 橋君
- ヒカリの池田様よりアピピン賞金額
- がんばるBOXに頂きました
- 稲田君
- なんとなく
- 竹内君
- ゴルフコンペアピピン取りました
- 齋賀君 富田君

<がんばる会計累積/¥184,000>

Tel,0877-23-8300 Fax,0877-23-8321

例
会
場
・
事
務
局

丸
亀
市
塩
飽
町
50
ー
3
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル
5
F

■会長挨拶

今年、ロータリーでやりたかったこと。日帰り家族旅行で鮎戸瀬荘に行く！
ということでリモート旅行！



阿波池田を超えて、阿波川口を超えると大歩危小歩危の直前です。(図1)
発見！大歩危小歩危の直前に、左側に、降りていく道があります。普通は気づきません！降りていけるとは分からない！(図2)



鮎戸瀬荘から見ると、こんな景色です。知らないと、行けません。(図3)
鮎戸瀬荘から、鮎戸瀬の景色。(図4)
例年は、このくらいの水量ですが今年は雨のせいで、多いです。(図5)



ここで、天然鮎を釣って生簀に入れて泥を吐かせます。(図6)
鮎戸瀬荘から見た吉野川。(図7)
鮎戸瀬荘の中は、床張りです。(図8)
ということで、鮎に戸をするという言われの鮎戸瀬、この激流で育った天然鮎を釣り、鮎尽くしの料理を出してくれます。料理は、来週ということでお食事にして下さい。

■幹事報告

- ①米山奨学会より秋山憲夫会員、林会員へ寄付の感謝状を贈呈。
- ②篠原ガバナーよりクラブへの礼状紹介。
- ③RI会長、ホルガー・クナーク氏からのメッセージを紹介。

■委員会報告

- ①夏見ロータリー情報委員長よりロータリーの友紹介。

■理事会報告

- ①10/29の職場例会について、プラザホテル1階で食事を取り現地に12:50集合。
- ②忘年家族会については、新型コロナウイルス感染懸念のため春頃まで延期する。
代替のプログラムは来月の理事会で決定する。
- ③善行表彰の日程が3/13→3/6へ変更。表彰対象者紹介のお願い。
- ④今後のクラブ運営については現状の方法で12月末まで継続して行う。
- ⑤指名委員会の設置について。

■例会事業;会員卓話;夏見良宏会員

ロータリーの現状と課題
ロータリーが世に誕生して115年ですが、21世紀になり世の中は
一変しました。(裏へ続く)



ロータリー先進地域といわれる地域で会員の大幅減少傾向が顕著である中、毎年同じ奉仕活動の繰り返し...、若い会員は入らないし、人も減ったし...、ロータリーは変化がないし、魅力もない...、昔の良さがなくなってきた...というような声があるように感じます。そこで、ロータリーの現状と課題について改めてお話をさせていただきます。

現在、世界はコロナショックに見舞われています。当初は感染症としてのショックでしたが、時間の経過とともに心理的なストレスや経済のショックに広まってきました。これは人類史上初の世界共通のショックであると言えます。各国の指導者は今回のコロナウイルス禍は、過去人類が恐れ慄いたペスト・コレラ及びスペイン風邪に準ずる大事件であると考え、最悪のシナリオを想定し、対応政策を行いました。その結果、マスクや消毒剤が無くなり、孤立感や差別的言動行動が増え、ポピュリズムの純化といえる事態が発生しました。そして経済は相当期間不全状態となり、各国が大規模な金融注入を行っていますが、効果は未知数で、かえって混乱に拍車がかかることも予想されます。一方、広範なポピュリズムの深化により世界はかつての世界大戦のような状況になる恐れもあります。しかし、人類は過去の過ちをそのまま反復することはなく、必ず「良識」が台頭します。ポピュリズムは国民を敵味方に分断する政治です。戦争は集団アイデンティティに上塗りされる排他的な民族ナショナリズムの最たるものであり、これに対抗するには個人アイデンティティを大切にす普遍的な価値観を共有するナショナルなものを世界に根付かせることが大切です。これはロータリーの基本的な考え方であり、これを踏まえてロータリーの現状と課題を考えていきたいと思えます。

さて、ロータリーの現状ですが、RIが最も気にしているのは会員数の減少です。ロータリーの会員数は現在118万6144人です。21世紀に入る頃までは急激に増加してきましたが、21世紀に入り横ばいとなり、最近では減少傾向にあります。日本のロータリー会員数は現在8万6089人です。国内会員数が最も多かったのは1996年11月末の13万982人で、その後は毎年減少の傾向にあり、日本の減少率は世界最大となっています。会員数の減少の原因はいろいろあって、それを特定することは難しいですが、現状を見ますと、四国4県の人口372万1000人に対してロータリアンは2973人、すなわち四国県民1252人あたり1名のロータリアンということになります。日本全体でみると国民1461人あたり1名のロータリアンですので、四国が悪いというわけではありません。世界で最もこの比率が高いのがノルウェーで国民368人に1名、フィンランド456人、デンマーク483人、豪州788人、米国790人、韓国が991人に1人です。今後人口の減少とともにロータリアンの人口も減少することは明らかですので、国民全体に占めるロータリアンの比率を高めていくしかありません。そのために自クラブのあるべき姿を描き、それに向かい会員それぞれが役割を果たしていく必要があります。

そこでクラブ増強のための戦略計画が重要になってきます。まず会員増強についてそれぞれ各クラブでの対策について分析をしたところ、特に有効なものはありませんでした。つまり、会員増強は決定的な手段というものはなく、クラブ全員で取り組む必要があるということが明らかになりました。また、維持・退会防止の手段としては社会奉仕・クラブ奉仕が効果的であります。

昨今、職業分類制度が廃止され、中核的価値観を共有し、社会に何らの貢献している人であれば誰でも入会できるようになりました。また衛星クラブやEクラブなど、多様性のある新クラブができ、入会への敷居が低くなっています。しかし、ロータリークラブの中核的価値観である「親睦」という点においては従来の例会のように実際に集まるということは非常に意義のあることであると考えます。

それから、戦略計画について、これは自分たちのクラブを将来どういうクラブにしていきたいのかという戦略をまとめるということです。当クラブではwebによる発信など、新しいことを進めつつありますが、その内容はまだ内向きの面が強く、外部に丸亀ロータリークラブの魅力を発信するということまでは至っていないように思います。外部に発信するためには我がクラブの特色、強みを再確認し、地域における「存在意義・理念」を作れたらメッセージとして伝わりやすいのではないかと思います。